第16号
平成17年7月

生涯学習の窓

富山大学生涯学習教育研究センターニュース

1.新しいPR活動その① HPで講演・講座データベース公開

これまで本センターでは、過去の講演会活動の記録をもとに「出張公開講座メニュー」を作成・配布し、各種団体の主催する講演会の講師として富山大学の教員スタッフを紹介してきました。ところが、なお多くの先生方の研究・講演テーマを把握しきれずに、ごくわずかなスタッフを紹介するにとどまっていました。そこで、本センターでは、前年度7月に大学開放に関する意識調査をかねて、講演可能なテーマとその概要について把握するよう、アンケートを実施いたしました。その結果、119人の先生方から208件の講演テーマ・概要を得ることができました。その内容として、①各先生方のご専門に関連した講座に加え、②ご専門とは別に関心をもっている領域や趣味・特技に関する講座など、多彩な内容となっています。

今回把握できた講演テーマ・概要は、昨年度3月以後、「富山大学講演・講座データベース」としてインターネットを通じて外部一般に公開しています。
(URLはhttp://www.life.toyama-u.ac.jp/cgi-bin/db/db.cgi)

データベースは、学部・部局ごと検索、キーワード検索が可能となっており、多くの方に利用いただければと考えております。

なお、テーマ・概要の追加登録や変更・修正を希望される場合、メール等にてご連絡下さい。
(lifelong@life.toyama-u.ac.jp)



2.新しいPR活動その② TV放映による受講者募集



公開講座等のＰＲ方法としては、ダイレクト・メール、新聞折り込みなどが有力な方法であることが公開講座アンケートの結果から明らかになっています。また、近年はＷｅｂを利用して講座情報をキャッチする方も増えています。

今回はそれらに加え、地元テレビ局を利用した新しいＰＲ方法を試みることになりました。取材依頼の形で訪問した先は、日本放送協会（ＮＨＫ）、北日本放送（ＫＮＢ）、チューリップテレビ、富山テレビ放送（ＢＢＴ）、ケーブルテレビ富山です。ＮＨＫでは「お知らせタマゴ」での講座紹介、ケーブルテレビでは神川康子副センター長とアナウンサーの対談形式の映像を収録・放送されることになりました。ただちに電話での問い合わせが来るなどの反響があり、今後も地元放送局に事業紹介の取材依頼を働きかけていきたいと考えます。

3.小杉高校との高大連携



前年度に引き続き、小杉高等学校との「高大連携」が実施されています。このような取り組みは、高校生が、大学とはどういう場であるかを知り、自分の持つ興味関心と照らし合わせながら進路を考える機会となるものであり、現代において意義あるものといえます。

今回は、公開授業「オープン・クラス」の中から、次の科目を小杉高校の生徒（前期計10名、後期は４名が受講予定）が履修しています。

月曜５限　「市民生活と法」	片岡宏一郎、森嶋秀紀（経済学部）	受講生２名
月曜５限　「睡眠の科学」	神川康子（教育学部）	受講生１名
金曜５限　「ドラえもんの世界」	横山泰行（教育学部）	受講生７名

4.「心理学と地域連携」フォーラムの開催



去る平成17年２月14日(月)午後２時～４時、富山大学人文学部第１番教室において、地域連携プロジェクト公開研究会「心理学と地域連携」フォーラムが開催されました(主催：人文学部心理学教室、生涯学習教育研究センター)。近年、「心の教育」「心の健康」への関心が高まり、「戦後第２の心理学ブーム」と言われるほどに心理学への期待が高まっています。このような背景の上に、心理学を通した地域社会との「知の交流」への期待も高まっていると言えます。

フォーラムでは、以下の報告者の方々からご意見をいただきました。

心理学専門職域の立場から	高　野　利　明（富山県臨床心理士会会長）
企業の立場から	中　谷　尚　義（㈱なかたに印刷社長）
学校教育の立場から	山　本　　晶（富山県教育委員会学校教育課主幹）
大学の立場から	海老原　直　邦（富山大学人文学部心理学教室教授）

（司会・進行は人文学部心理学教室喜田裕子、黒川光流の両先生）



報告者からは、「臨床心理士を養成しつつ、リカレント教育の場を提供してほしい」(高野)、「経営者の課題に対応し、人育てに生かせる心理学を」(中谷)、「子どもの問題に理解の深い学生を輩出し、例えば不登校児に接する機会を持ってほしい」(山本)、「学校カウンセリングや労働環境の改善等、心理学のもつ地域連携の可能性は多岐にわたるが、技術的知識だけでなく、基礎研究も重要であることを認識してほしい」(海老原)などの発言がありました。

これに対し、「心理専門職の就職の厳しい現実はどうにかならないか」「地域連携を進める上ではわかりやすいキャッチフレーズも必要である」「積極的な心構えはどのように身につくのか」など、活発な質疑・応答がありました。

多方面からの報告者、そして会場を埋め尽くす80人もの聴衆を集めた本フォーラムは、学問と地域が連携を結ぶ第１歩となったように思えます。

本フォーラムの詳細については、『報告集』をご参照下さい。

（『報告集』問い合わせ先：人文学部心理学教室喜田裕子先生まで）

5.会議報告

●第６回富山大学大学開放推進懇話会

開催日時：平成17年２月２日（水）　14:00～

議　　題：（１）平成16年度事業報告について

（２）富山大学の大学開放の在り方についての評価と提言

●平成16年度第３回生涯学習教育研究センター運営委員会

開催日時：平成17年２月８日（火）　13:30～

議　　題：（１）平成16年度事業報告について

（２）富山大学サテライト公開講座の企画委員について

●平成16年度第３回生涯学習教育研究センター公開講座専門委員会

開催日時：平成17年３月９日（水）　10:05～

議　　題：（１）平成17年度公開講座の実施計画

（２）平成17年度富山大学サテライト公開講座の企画・実施について

●平成17年度まちなかセミナー打ち合わせ会

開催日時：平成17年４月21日（木）　15:00～

場　　所：金沢大学サテライト・プラザ

議　　題：（１）平成16年度実施報告と次年度実施計画

●平成17年度第１回北陸地区国立大学連合協議会社会貢献系専門委員会

開催日時：平成17年５月19日（木）　15:00～

議　　題：（１）平成16年度「北陸６大学連携まちなかセミナー」の報告について

（２）平成17年度「北陸４大学連携まちなかセミナー」の計画について

●平成17年度第1回生涯学習教育研究センター公開講座専門委員会（持ち回り）

開催日時：平成17年６月20日（月）

議　　題：（１）平成17年度後期サテライト公開講座の実施について

（２）平成17年度後期公開講座の実施について

発行：富山大学生涯学習教育研究センター／〒930-8555富山市五福3190／TEL076-445-6956／FAX076-445-6960